

横

三年

画数 15
筆順

オウ 横
よこ

成り立ち

火矢(火をつけてとばす矢)の形をあらわした「黄」

(年 2136)「と」木」とを組み合わせて作った字です。

火矢は「よこ」に火のせんをえがいてとびますので、

「黄」は、「よこ」のいみをあらわし、「よこにさしわたす

「よこ木」を「横」といいました。

横は、「よこ木」といういみの字でしたが、今はたんに

「よこ」といういみにつかわれています。

また、横道は本道からそれた道ですから、「道からそれ

る(よこしま)」「正しくない」といういみにつかわれ

ます。

〔横は、漢音はコウであるが、今では漢音で読むことはなく、呉音のオウで読まれている。〕

使い方

▽この横線ノートは、横断歩道をわたって二ばんめの横町のかどの店で買いました。

▽あの人は横着な上に、横暴なところがありますから横死してもふしぎはありません。

熟語例

▽横町(おもて通りから横に入った通り、また、その通りにある町のこと。)

▽横線(横に引かれた線。「よこせん」とも読みます。)

▽横断(「横に断ち切る」といういみで、道を「横にわたる」いみにつかわれます。)

▽縦横(「縦と横」といういみで、「南北と東西」といういみや、「どちらの方にも」「自由自在」といういみにつかわれます。)

▽横着(横は「正しくない」いみ。「ずるい」といういみにつかわれます。)

▽横暴(横は「わがままかつて」のいみ。「わがままで乱暴なこと」をいいます。)

▽横死(わざわいにあつて死ぬとか、ころされるとかという、ふつうでない死にかたのこと。)

屋

三年

画数 9
筆順

コウ 屋
オク 屋
クン や

成り立ち

空をとんでいた鳥が休もうとして地めん「至る」形をあらわした「至(年 896)」と、人がいすにこしかけて休んでいるすがたをあらわした「戸」とを組み合わせて作った字で、「人が至り休むところ」である。「いえ」をあらわした字です。〔例〕家屋、屋内。

また、「屋根」のいみにもつかわれます。〔例〕屋上屋を架す。

「室(年 165)」とにた、なりたちの字です。

熟語例

▽家屋(家のことです。「家屋が古びてくると、修理が大変です」などというふうにつかいます。)

▽社屋(会社の建物。「〇〇社の新しい社屋は、十八階建てで、非常に立派だ」というふうにつかいます。)

▽陋屋(みすばらしい家。あばら屋。また、このことばは、自分の家のことを、けんそんして言うときにもつかいます。「陋屋に、おこし下さつて、まことにおそれ入ります」などというふうにつかいます。)

▽屋上(屋根の上)
▽万屋(何でも売っている店。何でも屋)